

わたしたちの町

人口(男).....4,482人
(女).....4,824人
計.....9,306人
2月中の転入.....17人
転出.....17人
世帯数 2,306世帯

(2月末日住民登録人口調べ)

広報

あいかわ

昭和61年(1986年)3月20日 第335号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

今月の紙面から

- 1.2.3面 3月町議会行政報告
3面 鷹角線着工
4面 県民歩くスキーの集い
雪田子ども会全国表彰

'86年/3月 335号



おひな様と「おてまえ」
ちようだいいたします

合川南保育園で

おひな祭りの三月三日、合川南保育園では、恒例になつた卒園お茶会が開かれました。南保育園で毎月のお茶会を初めたのは六年前から。「保育の中に心を落ちつかせる時間があつてもいいのではないかと始めたお茶会には、季節のお菓子やの楽しみもあつて、子どもたちは大喜び。父兄からも好評です。三月のお茶会は、着物姿で「お手前」ぶりを披露。卒園する年長組の女の子たちから、お茶とお菓子が渡され、緊張した表情で、おゆかしい気分を味わつていました。お茶室になつた遊戯室には卒園生が贈つたひな壇と、園児たちが紙やねん土で作つたひな壇が並び、桃の花が飾られて春の気配をただよわせていました。

卒園お茶会

松ヶ丘団地に多目的グラウンド

三木 関の沢に緑地休養施設

町議会の三月定例会は三月十一日から十八日まで開かれました。冒頭、畠山町長が行政報告。六十一年度予算の内容と、当面する町政の課題について説明しました。

一般会計の総額は二十四億二千四百四十二万四千円。前年度当初予算より八・三％のマイナス予算の中に、投資的な事業費が三億七千八百二十六万二千円を占めています。

3月定例町議会

町長の行政報告

今三月定例会におきましては、新年度予算案を中心に諸議案二十件についての審議を願うものですが、提出議案の説明に先立ち、諸般の町行政の報告を申し上げます。

行政効率に
最大努力

昭和六十一年度の国の予算は、財政体質を改善し財政再建の目標を達成することが、昨年に引き続き至上課題となつてのことから、一般歳出を全体として前年度同額以下に圧縮するため、社会保障関係経費や公共事業費等を中心に地方への高率補助負担金の一律削減や地方債の財源充当率の引下げなど、まことに厳しい抑制基調のもとに編成されております。また、六十一年度地方財政計画も国の予算と同一基調により、限られた財源の重点的配分と経常的経費支出の徹底した節減・合理化・効率化を図り、節度ある財政運営を行うことを基本とし

て策定されているところです。

こうした状況から、本町の行政環境も今後、一段と厳しさが加わることが予想されています。地域経済の振興や町民福祉の向上、町民生活の一層の安定のためには、行政の多様化に対応して、機動的かつ積極的な施策の展開に努めてまいります。行政活動を裏づける財源の捕そく、歳入の確保と行政の簡素化をすすめることに加えて、それぞれの施策の優先度について厳しく選択し、重点的に実施して、行政効率を高めることに最大の努力をはらう気構えが求められている時代でもあります。

六十一年度の当初予算案は、こうした諸情勢を踏まえ事業の着実な推進を図って、町財政の健全な健全性に留意して編成をすすめました。まず、継続事業の確保に努め、公共事業を初めとする投資事業については、国及び県の事業を



畠山義郎町長

(二面へ続く)

町長日記から

さすがの豪雪も、三月の声を聴くと、どどん雪がとけはじめた。天気が良いと人々は個人で、あるいは集団で排雪をはじめた。

三月定例議会は十一日に召集されて、新年度予算が審議される。昨年度より二億円以上減の緊縮予算である。中旬は各卒業(園)式が行われる。三日の合川高校の卒業式の当日、千葉県からの転校生が卒業するにあたり、その父兄から百万円の寄附を受けた。学校図書館の基金となつて後輩の教養・資質の向上に役立てることになった。

この寄附を受けたのは、転校生を、仲間として差別しない教師と級友の力である。高校生は社会人でないのに金を持たない。しかし金を動かすことのない高校生が百万円の金を動かしたのだ。いじめ、暴力の学園の多いなかで、その片鱗(へんりん)も見られないことは、感動的なことだ。

新入学・入園児を
交通安全から
守りましょう

守りましょう

▽雪どけ道路「スピード」は控えめに。▽歩いて確かようー通学・通園道路。▽飲酒運転は絶対にやめましょう。

四月六日(十五日)
春の交通安全運動

(一面より)

積極的に導入し、地域経済の活性化を図り、社会資本の充実拡大に配意し、また、行政施策の見直しについては、これまで社会経済の変化に対応して毎年必要な改善を図ってきたところであり、関係機関の提言を踏まえ、具体的に検討を加えて逐次実施しております。

歳入構成の健全性を

健全性を

次に、昭和六十一年度一般会計予算案の概要について申し上げます。

一般会計の総額は、二十四億二千四百四十二万四千円となりましたが、前年度当初予算額に対して二億九千九百一十二万二千円の減額予算であり、伸び率がマイナス八・三％となり、これは新規事業を極力抑制し、国及び県の動向を見極めて、弾力的に対応した結果によるものです。

歳入の主なるものについては、根幹となる町税収入を標準税率による積算により、自然増収を勘案して、三億八千八百八十八万八千円を予定し、前年度対比で九・〇％の伸びを見込み、また地方交付税については、六十年度に行われた国勢調査人口と基準財政指数により算定し、普通分で十四億七千七百万円を期待し五・二

％の伸び率を見込んでいます。国及び県支出金では二億八千六十七万九千円を予定しましたが、前年度対比で四二・三％の減となりました。町債では一億二千四百十万円を予定し、前年度より九千六百九十九万円減額しています。そのほか地方譲与税、自動車取得税、繰越金、財産収入及び諸収入等ですが、自己財源は十八億八千四百三十八万六千円となり、歳入全体の七七・七％を占めており、依存財源では五億四千三百八十八万九千円となりました。財源の確保に努め、歳入構成の健全性を図ってまいります。

立金、繰出金、貸付金等で一億三千四百五十五万五千円、四％の構成比となっております。普通建設事業は、補助事業で二億二千四百三十七万九千円、町単独事業で一億四千八百七十六万八千円、また災害復旧事業は河川災害復旧費として五百一十一万五千円を計上し、公共事業の推進を図ることにしており、投資事業の総額は三億七千八百二十六万二千円となりましたが、前年度に比して総枠で減少し、歳出全体の一五・五％の割合となっております。

国保一厳しい運営に 診療所は赤字が縮小

次に、特別会計について申し上げます。

国民健康保険事業の新年度予算は、医療給付費の伸びを医療費改訂分と自然増分を併せて全国平均の六・三％と見込み、それに伴って保険税を三千円引上げて、一世帯当り十一万五千円として予算総額四億七千六百四十七万九千円となります。

これは、新年度も前年度同様に、老人保健の加入者按分率などの補助金に未確定要素が多く、今後、国の対応をみなければなりません。

度も国保財政調整基金から、四千五百万円を繰入れ、財源調整を図っています。これにより、基金は全額取りくずされて、今後の国保運営は非常に厳しい事態になります。なお、高値で維持している医療費の軽減を図るための対策として、厚生省と共同でヘルスパイオニア事業を導入し、成人病予防と食生活改善を中心に、徹底した活動を進めるための事業を協議中であり、国の指定が確定次第、予算措置を予定しています。

合川町国民健康保険診療所会計は、昨年四月から山山敬一郎先生が就任し、内科部門の患者数及び診療収入が大幅に増加していますが、外科、及び歯科部門は、医師の交替勤務等により、予定を下廻る状況であり、その対策に努力しています。五十九年度の経営赤字二千五百六十二千円は



健康で明るい町づくり

一般会計から補填(ぼてん)しましたが、六十年度も約五百五十万円前後の赤字が想定されています。なお経営改善については昨年末以来検討を加え、職員態勢、薬局管理、検査室機能の充実等について整備を図り、町立の医療施設としての経営の在り方を確立し、町民の医療要請に応える経営体制の改善をすすめています。

新年度予算総額は二億二千九百二十三万九千円となりましたが、診療収入については、患者数を入院十九人、外来八十六人、歯科三十一人を予定しています。

雪田簡易

水道に着手

次に、合川町簡易水道事業会計では、一般管理費のほか

に、新規に第三期山村振興事業の指定を受け、雪田地区に簡易水道布設事業費五千六百七十二万六千円を計画し、総額一億八千二百四十二万五千円としていきます。そのほか、合川町老人保健会計は四億六千七百三十万三千円、合川町



町のこよみ

お知らせコーナー

三 月

- 21日 春分の日(マトビ)
- 22日 地域づくり研修会
- 25日 ことぶき大学卒業式
- 26日 生涯学習講座閉講式
- 31日 町制施行記念日

- 4日 町内小中学校入学式
- 5日 下杉溜池竣工式
- 町内保育園入園式

国民年金 四月から 保険料 七千円に

四月から国民年金などが大幅に改正されます。保険料の見直しが行われ、四月から一カ月七千円になります。家計の中で、計画的に保険料を納付するように心がけましょう。

児童手当制度が 改正されます

新制度では、十八歳未満の児童を二人以上養育している人で、そのうち一人以上が義務教育就学前の児童に、児童手当が支給されます。(前年所得が一定額以上の人には支給されません)この制度は、今年六月から実施されますが、

社会福祉協議会の 心配ごと相談

毎月五日と二十日・午後一時から三時まで、老人憩の家ことぶき荘で心配ごと相談を行っています。どんなことでもお気軽に相談ください。相談日が日曜祭りのときは、翌日に行われます。

今月の納期

国民年金第4期

▽昭和六十一年六月一日から昭和六十二年三月三十一日

▽第二子は昭和六十一年六月一日現在で満二歳未満(月額二千五百円) 第三子以降分は義務教育終了前(月額五千円)

▽昭和六十二年四月一日から昭和六十三年三月三十一日

▽第二子は昭和六十二年四月一日現在で満四歳未満。第三子以降分は昭和六十二年四月一日現在で満九歳未満。

▽昭和六十三年四月一日から第二子以降義務教育就学前の児童。

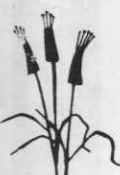
◎以上の該当者は今年五月三十一日までに役場福祉課へ届出ください。くわしい問い合わせは福祉課におたずねください。

▽用心にご協力を

▽盗難自動車による犯罪が増えています。キーを抜いてドアロックをしつかりと。警察では四月を「ローラー期間」として犯罪捜査を行います。

三月定例議会 町長の 行政報告

三月定例議会 町長の 行政報告



町長の 行政報告

(三画へ続く)

(二面より)

墓園会計は百七十六万三千円
合川町宅地造成事業会計では
五〇区画のうち十二区画の分
譲を予定し、二千七百八十六
万二千円の予算額を計上して
います。農村環境総合整備モ
デル事業によって施工される
鎌沢地区の下水道事業は、二
カ年の継続事業となり、特別
会計を設定。初年度分として、
七千七十六万円の事業費を計
上しています。

町の行革大綱

まとまる

以上、予算案の概要につい
て説明しましたが、町政の当
面する課題について申し上げ
ます。

まず、町の行政改革大綱の
策定についてですが、町行政
をめぐる社会経済情勢が厳し
く推移する中において、本町
においては、これまでも組織
機構の簡素化や、事務事業の
改善等に努めてきたところで
す。時代の要請に即応した
行政の役割についての見直し
と、効率ある行政をすすめる
ため、昨年八月に、町内民間
有識者十名で構成する「合川
町行政改革懇談会」を設置し、
行革推進事項を検討しており、
三月八日の最終協議により、
提言を受けています。今会期
中に、町の行政改革大綱の成
案を議会に提示して、説明す
ることになります。

次に、阿仁合線の存続につ
いてですが、昭和五十五年、
「国鉄経営再建特別措置法」
の成立に伴い、赤字ローカル
線に選定された阿仁合線、角

館線の対応については、定例
会の都度、報告してはいますが、
昨年九月地方鉄道業の免許交
付を受け、十月二十三日に、
新線としての工事が五年ぶり
に再開されています。今後の
日程は、輸送計画、国鉄から
の車輛等の貸付譲渡、運賃、
速度等、一連の事務手続をす
すめ、本年十月から阿仁合線、
角館線の秋田内陸縦貫鉄道株
式会社による運営が、同時に
開業される予定となっています。

大野台 農用地開発を推進 三省庁調査に期待

次に大野台開発についてで
すが、昨年度より国土庁の国
土総合開発事業調査が行われ、
本年度開発可能性調査が終る
予定です。すでに建設省、通
産省、林野庁の三省庁で米代
川流域総合整備計画策定の調
査がすすめられています。ま
た、農用地開発については、
昭和六十二年の地区調査の
国の指定を受けるべく、鷹巣
森吉、合川の三町が地権者よ
り仮同意を得るための作業や、
説明会を行っています。本
町は現在百五十ヘクタールの
仮同意となりましたが、さら
に地権者等の理解のもとに百
ヘクタールの仮同意を得るべ
く説得を続けています。

次に、東京都からの委託に
よる心身障害者施設を、広域
圏内に新たに誘致するため、本
年一月二十一日、東京都福祉
局長を訪問し受け入れの意向
を確め、さらに広域議会の了
承を得て、先般、広域組合正
副管理者が秋田県副知事と共
に、東京都に陳情しており、
明るい見通しを得てきていま
す。

また、懸案となっています
広域ゴミ処理施設の建設は、
昨年、広域議会に設置した調
査特別委員会の先進事例の研
修や、管内町村のゴミの量の
実態調査等により、処理能力
六十トン規模、昭和六十三年
度着工の基本路線を決めて越
年しました。今後、国の補助金



大野台—開発の夢くららむ
(実証展示圃)

分の予定額は確保することが
できました。

阿仁川ダム

基本計画書策定へ

次に、阿仁川ダム関係につ
いて申し述べます。

阿仁川ダムは、多目的ダム
として昭和六十一年度で国の
予算が認められ、調査事務所
から工事事務所に昇格し、約
九百十億円の巨費を投じ、実
施すべく準備を進めています。

今後の作業の工程は、六十
年度末まで大野台地区の畑地灌
漑(かんがい)、代替地用、
水道用、工業用等の新規用水
量、既設の利水容量を取りま
とめ、六十一年度でダムの基本
計画書を策定し、工事の推進
を計る予定と聞いています。

当町としても、議会と協議し
ながら、既存の灌漑用水等の
確保、また大野台開発に関連
するダム水の利用について、
将来に悔いを残さないよう、
水の確保と浄水計画、資金計
画等を関係機関と慎重に協議
を重ねています。

公立米内沢総合病院の経営
再建については、公立米内沢
総合病院は森吉町外四ヶ町村
組合病院として運営管理され、
歴史的にも地域の中核医療施
設として果してきた役割は大
きく、医療制度の変革のなか
で地域住民の要請に対応して
果してきた実績は大きなもの
があります。しかし、病院施

設の拡大と医療陣のアンバラ
ンスから年々、経営赤字が累
積し、昭和五十七年度から昭
和六十三年度までの七ヶ年間
にわたる経営健全化計画を策
定して、再建に向って対処し
てきていますが、事態は益々
悪化し、昭和六十年年度まで
の累積赤字が一億六千九百六
十一万円の龐大なものとな
る予測となっています。しか
も今後この解消対策について
具体的な見通しと再建対策が
ないことから、組織町村とし
て誠に憂慮にたえない状況で
あり、抜本的対策と対応につ
いて、病院組合議員を中心に
議会と協議する必要がでてく
るのではないかと考えていま
す。

以上、新年度に向っての町
政施策の一端を申述べました
が、町行政を執行する上で大
事な事は、職員一人一人が町
民に公平にサービスすること
であって、町職員は全体の奉
仕者として公共の福祉のため
に勤務し、しかも職務遂行に
当っては全力を挙げてこれに
専念すべきものです。この理
念のもとに、愛情をもって町
民に接し、町政に対する信頼
関係を一層強化することが肝
要であると存じ、町職員の職
場の連帯感を深め、自治体職
員の姿勢を正してゆく所存で
す。

議員各位におかれましては、
合川町発足三十年の新しい
節目を契機として町政の足跡
に輝かしい青史がきざみこみ
続けられるようますますの活
躍を期待して、行政報告を
終ります。

鷹角線工で 町内祝賀会

民間基金を募って



鷹角線存続の経緯と
今後の計画

鷹角線は昭和六十四年四
月に全線開通の予定です。
昨年十月からの新線工事の
着工を祝う町内祝賀会が、
二月二十三日に開かれまし
た。

この祝賀会は鷹角線の運
営基金の協力を求める呼び
かけの中で企画されたもの
で、基金協力者三百人近く
が集いました。

鷹角線は新線の開通を前
に、この十月から阿仁合線
角館線を第三セクターの新
会社で営業することになっ
ています。新鉄道を、県民の
鉄道として将来にわたっ
て存続させるため、民間か
らも基金を募ることになり、
事業者団体、部落、個人に
幅広く呼びかけが行われま
した。

祝賀会では畠山協力会長
(町長)が「鷹角線への投資
は、私たちの未来への投資
私たちのものという意識で
存続させよう」とあいさつ。
新線開業にむけて、熱意の
結集を誓い合いました。

写真：近藤鷹角線北口期
成同盟会長(阿仁町長)
がかけてあげたいさつ。

△昭和55年12月27日 「国
鉄経営再建特別促進措置法」
成立△昭和56年9月18日 角
館線が第一次特定地方交通
線承認△昭和59年6月22日
阿仁合線が第二次特定地方
交通線承認△昭和59年7月
27日 第六回角館線特定地
方交通線対策協議会におい
て「第三セクターによる鉄
道転換」に合意△昭和59年
10月29日 「秋田内陸縦貫
鉄道株式会社」設立△昭和
59年11月21日 第一回阿仁
合線特定地方交通線対策協
議会において「第三セクタ
ーによる鉄道転換」に合意
△昭和60年10月23日 鷹角
線起工式

△昭和61年3月 輸送計画
の検討 国鉄からの車両等
の貸付譲渡の協議△昭和61
年5月 貸付譲渡申請 運
賃、車両、速度等の認可申
請△昭和61年9月 運輸開
始認可△昭和61年10月 角
館線、阿仁合線第三セクタ
ーとして同時開業△昭和64
年3月 新線工事完成△昭
和64年4月 鷹角線全線開
業(総延長九十四・六km)

汗さわやかに 家族づれでスキー 最高の人出一 第7回県民の集い



第七回県民歩くスキーの集いが三月二日、大野台ハイランドで開かれました。今年も親子連れの参加が目立ち、七百五十人余りがスキーをばいいて参加。遠方からの参加者も多く、役員・関係者らを含めて、千人を超える集いになりました。

合川西小学校児童や、米内沢高校スキー部員らが実技指導。ハイランド広場から大野台ゴルフ場へとぬけて三キロコース、五キロコースへと汗を流しました。

午後の部はタイムをとってスキーマラソン。全力で走り抜ける人や、周囲の風景を楽しむ人など、それぞれにマイペース。チビっ子からお年寄りまで、歩くスキーの楽しさと、冬の雪原の広がり、「ヤッホー」と歓声をあげる子どもたち

大野台の魅力を満喫していました。

学習への参加を 呼びかけて

鷹巣阿仁生涯教育の発表会

鷹巣阿仁地区生涯教育奨励員学習発表会が、二月十四日、当町農村環境改善センターで開かれました。発表会は、個人学習や広域的な学習例などを交歓し合おうと開かれていたものです。

各町村から一名ずつが講演と発表。六十代になってから習い始めたという見事な尺八演奏などが発表され、大きな拍手がわいていました。

「ボケの予防は、目標を持つて学び合うこと」「学習の中で、人々との出会いが人生を豊かにする」「仲間ができて、生きがいが生まれた」など、生き生きとした体験発表。さらに学習の仲間づくりをすすめようと話し合いました。

雪田子ども会に 全国消防表彰

全国消防表彰

雪田子ども会に、全国少年消防クラブ運営指導者協議会(会長＝消防庁長官)から表彰楯が贈られます。雪田子ども会は児童生徒が十一名。児童の数が少ないため「全員で毎日」を相言葉に、火の用心の呼びかけを行っています。こうした助け合いと奉仕の活動が讃えられて、昨年一月には県知事表彰を受賞。この二十八日に、児童代表が全国表彰を受けることになっています。写真＝奉仕活動にがんばる雪田子ども会の皆さん



合川高・森川選手 世界選手権へ

世界選手権へ

四月二十七日から西ドイツで開かれるフエンスンク世界ジュニア選手権大会に、合川高校三年森川明美選手の参加が決まりました。森川選手は二月の日本代表選考会で優勝。合川高校からの同世界大会への出場は初めてで、全校あげて声援が贈られています。

善意のご寄附

(敬称略)

- 〔香典返しにかえて〕
- 安部修治 新田目(故父作太郎)
- 桜田 博 東根田(故母ユキエ)
- 平川敏治 李岱(故父 政三)
- 高橋金男 駅前(故母 キツ)
- 福岡恒夫 三里(故父 正吾)
- 福岡与太郎(故母 リサ)
- 木村運一 李岱(故祖母シミ)
- 〔広報郵送料として〕
- 杉淵けい子 栃木県足利市寺岡町四〇九一八

慶弔だより

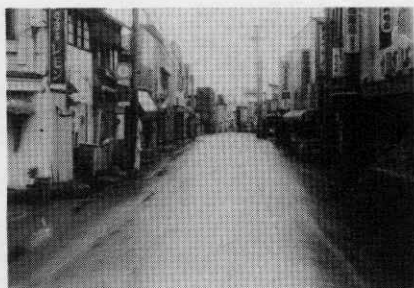
2月届

- お誕生おめでとうございます
- 山田友美 金沢 和也二女
 - 加藤 翔 鎌沢 英一長男
 - 松橋裕美 駅前 和博長女
 - 松岡香緒里 羽根山
 - 松橋 徹 道城 利美長男
 - 謹んでおくやみ申し上げます
 - 平川政三 李岱 本人
 - 安部作太郎 新田目 本人
 - 佐藤ミサ 川井 禎蔵 妻
 - 福岡正吾 三里 本人
 - 高橋キツ 駅前 金男 母
 - 木村シミ 李岱 運一祖母
 - 福岡リサ 三里 与太郎母
 - 福岡政之助 三里 本人

交通安全 危険です この場所でこんな事故が

⑫

町の交通死亡事故ゼロの記録は三月十四日で二千二百日。しかし、昨年、当町は飲酒運転者率が全県八位・十七件という不名誉な記録になりました。人身事故では、死亡事故につながりかねないケースがありました。このコーナーでは主に、昭和五十九年の事故から、危険箇所を紹介してきましたが、「安全」と思われる場所でも小さな油断から命さえうばわれかねない事故が発生しており、「全町危険地帯」という意識が必要で



場所 下杉字川井境(駅前)
事故 車と歩行者の事故

一億二千三百万円が灰に

鷹巣阿仁部で一年間に

昨年一年間に鷹巣阿仁部で発生した火災は二十七件。被害額は二億二千二百七十万円にのぼっています。

鷹巣阿仁部の過去五年間の火災件数は百四十二件。原因別には▽タバコ十一件▽ストーブ・ボイラー・煙突・風呂釜三十七件▽ガス石油器具十二件▽電気製品十三件▽火遊び六件などと

なっています。ローソクの火や走行車両の火災など、原因は多方面にわたっており、私たちの生活は、常に火災の危険に包まれていることがわかります。しかしそのほとんどは「うっかり」からの「人災」とも言えるものでした。

昨年末から今年にかけては、県内外で焼死火災が発

生。小さな火災で、煙によって亡くなったいたましいケースもありました。

当町では、今年に入ってから四件の火災が発生しています。春とは言ってもまだ暖房の季節。雪で曲がった煙突からの火災などが発生する心配はありませんか。もう一度、暖房やボイ

怖いのは「消したつもり」と 「消えたはず」

四月六日～十二日

春の火災予防運動

ラーなどを点検してください。そして、睡眠前や外出前には、しっかりと火の元を点検しましょう。また、雪どけとともに山火事の発生が心配されます。地域ぐるみで「火の用心」を徹底しましょう。

たんぽぽ

幼い日、春の野で、たんぽぽの花を摘んで遊んだり、白い綿毛を吹いた思い出をお持ちの方は、多いことでしょう。たんぽぽには昔からの在来種と、外国から渡来したセイヨウタンポポがあるそうです。セイヨウタンポポは、明治時代に牧草と共に渡来し、北海道から広がったと言われており、現在では、在来種よりも多く広まっているということです。

見分け方は、在来タンポポは花をささえている総苞片(ガクの部分)が上をむいているのが在来種。下にそりかえっているのがセイヨウタンポポ。セイヨウタンポポのほうが種子が軽く、オシベとメシベがない繁殖なので、遠くまで一人旅をして増えているようです。

一人旅と言えば三月は卒業式。新しい旅立ちをみんなが祝福しています。

